

Oracle® Fabric OS 1.0.2 リリースノート



Part No: E74805-02
2016 年 11 月

Part No: E74805-02

Copyright © 2016, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS: Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、Oracle Corporationおよびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

OracleおよびJavaはオラクル およびその関連会社の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Intel, Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD, Opteron, AMDロゴ、AMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクルのアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility ProgramのWeb サイト(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc>)を参照してください。

Oracle Supportへのアクセス

サポートをご契約のお客様には、My Oracle Supportを通して電子支援サービスを提供しています。詳細情報は(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info>) か、聴覚に障害のあるお客様は (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs>)を参照してください。

目次

このドキュメントの使用方法	7
最新情報	9
サポートされている最小のファームウェアバージョン	9
ソフトウェアおよびハードウェアの要件	9
既知の問題	10
IB スイッチチップが正しくないリンクステータスを報告する (23626815)	11
OFOS CLI に誤って san map コマンドが含まれている	11
一部のコマンドでは lun-mask および san qos フィールドが表示され る	11
VHBA ではなく、ファイバチャネルポートでファイバチャネルのリン ク停止タイムアウトを設定する	12
OS のパッチと更新	12

このドキュメントの使用方法

- **概要** – Oracle InfiniBand スイッチ上の Oracle Fabric OS 1.0.2 に関する最新情報を提供します。
- **対象読者** – 技術者、システム管理者、および認定サービスプロバイダ。
- **前提知識** – ハードウェアのトラブルシューティングや交換に関する豊富な経験。

製品ドキュメントライブラリ

この製品および関連製品のドキュメントとリソースは http://docs.oracle.com/cd/E64522_01 で入手できます。

フィードバック

このドキュメントに関するフィードバックを <http://www.oracle.com/goto/docfeedback> からお寄せください。

最新情報

このドキュメントには、Oracle Fabric OS 1.0.2 についての重要な最新情報が含まれています。

- [9 ページの「サポートされている最小のファームウェアバージョン」](#)
- [9 ページの「ソフトウェアおよびハードウェアの要件」](#)
- [10 ページの「既知の問題」](#)
- [12 ページの「OS のパッチと更新」](#)

サポートされている最小のファームウェアバージョン

リーフスイッチまたは仮想化スイッチが提供された時期に応じて、システムファームウェアバージョンは Oracle Fabric OS 1.0.1 または 1.0.2 のいずれかになります。ファームウェアバージョン 1.0.2 が必要であるため、スイッチでそのバージョンを実行していない場合は、[My Oracle Support](#) にアクセスして、Oracle Fabric OS を 1.0.2 に更新する必要があります。

ソフトウェアおよびハードウェアの要件

Oracle Fabric OS 1.0.2 を使用する前に、使用しているハードウェアがハードウェアおよびソフトウェアの要件を満たしていることを確認します。

サポートされているハードウェアおよびソフトウェア	最小バージョン
Oracle InfiniBand スイッチ	■ Oracle Fabric Interconnect F2-12。この仮想化スイッチの詳細は、https://www.oracle.com/networking/fabric-interconnect-f2-12/index.html および <i>Oracle Fabric Interconnect F2-12 and Oracle F2 I/O Modules Product Notes</i> を参照してください ■ Oracle InfiniBand Switch IS2-46 スイッチ。リーフスイッチの詳細は、https://www.oracle.com/networking/infiniband-switch-is2-46/index.html を参照してください。

サポートされているハードウェアおよびソフトウェア	最小バージョン
I/O モジュール	仮想化スイッチでサポートされる I/O モジュールの詳細は、 https://www.oracle.com/networking/fabric-interconnect-f2-12/index.html を参照してください。
Oracle Fabric Manager ソフトウェア	Oracle Fabric Manager バージョン 5.0.2。バージョン 5.0.1 を使用している場合は、5.0.2 にアップグレードする必要があります。5.0.0 より前のどのバージョンもサポートされていません。 詳細は、 http://www.oracle.com/us/products/networking/virtual-networking/fabric-manager/overview/index.html を参照してください。
オペレーティングシステム	Oracle Linux、バージョン 6.7 (UEK4 を含む) 以降。

注記 - これらの 2 つの Oracle デュアルポートアダプタにはモデル番号がありませんが、サーバー内および IB ファブリック上でアダプタを一意に識別する 64 ビット GUID があります。

この表には、サーバー上の Oracle InfiniBand スイッチでサポートされている IB HCA カードが一覧表示されています。

サポートされている HCA カード	最小のファームウェアバージョン
Oracle Dual Port QDR InfiniBand Adapter M4 および Oracle Dual Port EDR InfiniBand Adapter	Oracle Solaris システム - Oracle Solaris 11.3 SRU 9 Oracle Linux システム: ■ Oracle for Oracle Linux 6 Update 7 ■ Oracle Linux 7 Update 1

サポートされている HCA カードの詳細情報は、<https://www.oracle.com/networking/dual-port-edr-infiniband-adapter/index.html> および <https://www.oracle.com/networking/dual-port-qdr-infiniband-adapter-m4/index.html> で入手できます。

既知の問題

これらは、Oracle Fabric OS 1.0.2 の既知の問題です。

- 11 ページの「IB スイッチチップが正しくないリンクステータスを報告する (23626815)」
- 11 ページの「OFOS CLI に誤って `san map` コマンドが含まれている」
- 11 ページの「一部のコマンドでは `lun-mask` および `san qos` フィールドが表示される」

- 12 ページの「VHBA ではなく、ファイバチャネルポートでファイバチャネルのリンク停止タイムアウトを設定する」

IB スイッチチップが正しくないリンクステータスを報告する (23626815)

Ethernet スイッチをリーフスイッチの Ethernet オーバーレイネットワークポートに接続した場合、IB スイッチチップから表示されるリンクステータスが、Ethernet スイッチによって検出されるステータスと矛盾する場合があります。たとえば、IB スイッチチップからはリンクが停止状態にあると報告され、Ethernet スイッチからは稼働状態にあると報告されることがあります。

回避方法: IB スイッチチップの疑わしいポートをリセットします。

Oracle Fabric OS コマンド行で、次のように入力します。

```
[OFOS] set port port up gw -s 10g
```

ここで、*port* は疑わしいポート番号です。

OFOS CLI に誤って `san map` コマンドが含まれている

このバージョンの OFOS CLI には、Oracle Dual Port 16 Gb Fibre Channel Module ではサポートされない次のコマンドが含まれています。

```
add san map name entry order wwpn
```

- `show san map name`
- `set san map name entry wildcarded-name -descr-=string`
- `set san map name entry wildcarded-name -wwpn=target-wwpn`
- `remove san map name entry wildcarded-name`

一部のコマンドでは `lun-mask` および `san qos` フィールドが表示される

このバージョンの OFOS では、ファイバチャネル機能の一部の `show` コマンドに `lun-mask` および `san qos` フィールドが含まれています。LUN マスキングと SAN QoS 機能は Oracle Dual Port 16 Gb Fibre Channel Module ではサポートされないため、これらのフィールドは誤って表示されます。

VHBA ではなく、ファイバチャネルポートでファイバチャネルのリンク停止タイムアウトを設定する

このバージョンの OFOS には、ファイバチャネル接続のリンク停止タイムアウトを設定する次の 2 つのコマンドが含まれています。

- `set fc-port=slot/port -fc-link-down-timeout=timeout-in-seconds`
- `set vhba name -fabric-link-down-timeout=timeout-in-seconds`

リンク停止タイムアウトを設定する場合は、2 番目のコマンドの代わりに最初のコマンドを使用します。

OS のパッチと更新

バージョンの違いから現在の OS にパッチを適用する場合は、その前にクライアントシステムで OS イメージ全体を更新します (可能な場合)。

OS イメージ全体を更新できない場合は、<https://support.oracle.com> にあるソフトウェアドライバを含む最新のパッチをダウンロードします。